

## 目的



今後ますます情報化が進む中、機械がプログラムによって動き、社会で活用されることをイメージしながら学習することで、プログラミングの技術及び論理的思考力を身につけさせる。

対象：県内高校生30名

## 実施内容

- ◆ 大学と連携協力し、4日間の講座と1日のコンテストを大学で実施する。



## VR・コース

VR（バーチャルリアリティ）技術の基本とC#言語を使った物理シミュレータ（Unity）の活用を学ぶ。

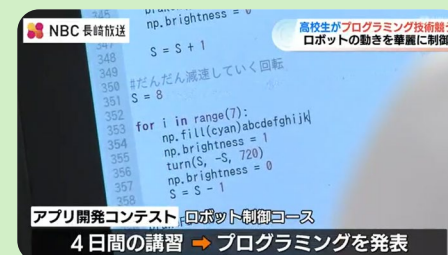
VR技術を活用して、物理シミュレーションを使ったバーチャル公園を作成し、作品をコンテスト（2名1チームで1作品の発表）で競う。

事前説明  
来賓・受講者受付  
開会行事  
コンテスト  
●VRコース[14チーム] 発表3分・質疑応答1分  
休憩  
長崎県の情報産業について 15分  
コンテスト結果発表・表彰、修了証書授与  
講評  
閉会行事（事務連絡、アンケート記入）

## ロボット制御・コース

XIAORP2040マイコンとPythonを用いて、計測・制御の基本とその応用としてロボットのプログラミングを学ぶ。

1人に1台配付されたロボットを、プログラミングによって、優雅に演技するフィギュアスケータのように動作させ、コンテストで競う。



## 取組計画

大学にプログラミングをテーマとした講座・コンテストの実施を相談。

将来の長崎県ICT人材育成に向けた参加生徒へ県内情報産業・大学情報系学部の情報提供を目的として、情報産業協会及び大学に依頼。大学により講座内容などについて提案・実施する。

※協力先：長崎大学情報データ科学部、長崎大学教育開発推進アドミッションセンター  
長崎総合科学大学総合情報学部、長崎県情報産業協会

